

科目名	英語表現Ⅰ	英語科目名	English Expression 1
開講年度・学期	平成27年度・通年	対象学科・専攻・学年	4年全学科
授業形態	講義・討論・発表	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修単位（60時間単位）
担当教員	岡田 晃	居室（もしくは所属）	専攻科棟3階
電話	内線192	E-mail	akira.ok@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
1. テキスト内に出てくる単語の日本語訳、またその逆ができること。	③	E	f
2. テキスト内の各文法を理解・使用できること。	③	E	f
3. テキスト内の英文読解ができること。	③	E	f
4. ある課題に対して英語で発表、または英作文ができること。	⑥	E	f
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
上記1～3について：各試験の平均が60%以上を満たしている場合、若しくは各試験の平均と、提出課題、小テスト、授業への取り組みの内容と回数を設定水準に基づいて行った評価との合算が、本校所定の基準を満たしたと認められる場合、目標到達とする。 上記4について：年間を通じて、個人もしくはグループ発表を数回行い、教員評価もしくはクラス学生全体のアンケートにより評価を行う。			
評価方法			
評価は下記項目の加重平均で行う ・定期試験・・・90% ・提出課題、小テスト、授業への取り組みの内容と回数等・・・10% (この割合は変更する場合がありますので注意すること。変更する場合は予め授業中に指示する)			
授業内容			
1. Unit 1 About Myself 2. Unit 1 About Myself 発表・英作文 3. Unit 2 My Hero 4. Unit 2 My Hero 発表・英作文 5. Unit 3 Talking about the Future 6. Unit 3 Talking about the Future 発表・英作文 7. Unit 4 Giving Instruction 8. Unit 4 Giving Instruction 発表・英作文 9. Unit 5 Promoting Places or Products 10. Unit 5 Promoting Places or Products 発表・英作文 11. Unit 6 Comparing Two Things 12. Unit 6 Comparing Two Things 発表・英作文 13. Unit 7 Describing Graphs 14. Unit 7 Describing Graphs 発表・英作文 15. 総合復習 16. Unit 8 Chronological Order: History 17. Unit 8 Chronological Order: History 発表・英作文 18. Unit 9 Advantages and Disadvantages 19. Unit 9 Advantages and Disadvantages 発表・英作文 20. Unit 10 Research and Presentation 1 21. Unit 10 Research and Presentation 1 発表・英作文 22. Unit 11 Research and Presentation 2 23. Unit 11 Research and Presentation 2 発表・英作文 24. Unit 12 Research and Presentation 3 25. Unit 12 Research and Presentation 3 発表・英作文 26. Unit 13 Graph Analysis 27. Unit 13 Graph Analysis 発表・英作文 28. Unit 14 Pros and Cons of Capital Punishment 29. Unit 14 Pros and Cons of Capital Punishment 30. 総合復習			
キーワード	コミュニケーション 異文化理解 発信 協同		
教科書	Prepare Your Speech NAN'UN-DO PHOENIX		
参考書	ハンドアウト		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	英語ⅠA、英語ⅠB、英語Ⅱ、英会話、ライティングA、ライティングB、英語Ⅲ		
現学年の関連科目	英語演習Ⅰ、英語表現Ⅱ		
次年度以降の関連科目	英語演習Ⅱ		
連絡事項			

学習方法：

予習：教科書の説明や例文を参考に、間違いを恐れず、練習問題の問題を解いてみる。その際、わからない単語・成句等があれば辞書で調べておく。

授業：説明や問題演習、及び予習中の不明な点は特に理解に努めること。

復習：授業全般を復習し、わからなかったことを確認すること。

授業方法：

教科書が基本で、必要があれば適宜プリントを配布する。

学生へのメッセージ：

とにかく間違いを恐れずに積極的に英文に取り組んでください。英語における表現力アップのための基礎的な科目なので積極的な取り組みを期待しています。わからない点は、授業内外で確認すること。また、上記に示した内容は変更する場合がありますので注意すること。変更する場合は予め授業中に指示します。

シラバス作成年月日 | 平成 27 年 2 月 27 日